

第59回紫友まち歩き

調布駅からの 鬼太郎と深大寺・湧水をめぐる まち歩き

前回の箱根のまち歩きの懇親の場で、次回のまち歩きは梅雨が終わった7月30日開催と決まりました。熱中症対策をしっかりとしてスタートしました。汗をかいた後は深大寺の黒湯を楽しむ湯守の里での温泉と懇親会です。

日時：2016年7月30日(土)

集合時間：13時30分

集合場所：京王線調布駅東口

参加者：22名参加

案内人：017 小林

懇親会：深大寺 湯守の里

懇親会参加者：22名

<まち歩き>：

まち歩き行程

京王線調布駅東口改札 天神通り 大正寺
布多(ふだ)天神社 野川そばの大寒桜 虎狛
神社 深大寺水車館 深沙(じんじゃ)大山堂
水源湧水池 (都立神代植物公園)水生植物
園 深大寺城跡 鬼太郎茶屋 深大寺 深大
寺天然温泉 湯守の里 入浴と懇親会 懇親
会場からバスやタクシーで帰宅解散

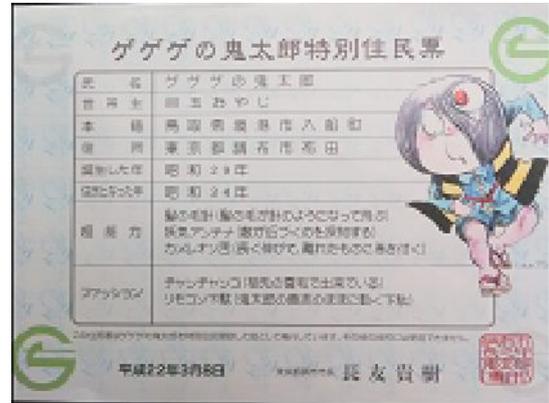
<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

京王線調布駅東口改札出てエスカレータで
地上出口：

改札のほうが涼しいというグループと指定の
場所で待つ2組に分かれて集合。調布市役所で
入手したパンフレットを手渡す。

ゲゲゲの鬼太郎の特別住民票も入手できた(ま
ち歩きの前に)。



天神通り：

駅そばの駐輪所にも鬼太郎の絵が描かれてい
る。NHK朝の連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」
で知られた水木しげるの自宅？前の藁屋根ふ
きのポストを見学。



ゲゲゲの鬼太郎など妖怪のオブジェが並ぶ天
神通りを進んでいく。入口の柱の上の鬼太郎が
2つと、ねずみ男、塗り壁、猫娘と一反木綿、
鬼太郎2体の5つでした。



大正寺：

落ち着いた雰囲気の大正寺を参拝する。残念ながら奥の庭など自由には参拝できなかった。涅槃像もあった。



菅公の牛も暑い中に寝ていた。



振りみくじがあったが、麻雀好きには振り込みくじと目に入り、振り込んでもらえるようにと願う。

布多天神社：



延長5年（927年）制定の延喜式名を連ねる古社参拝。地名は布田なのに、なぜ布多なのかの議論もありました。



途中に桐朋学園大学の音楽学部の建物がある。防音設備がしっかりしている。小澤征爾もたまに来るとのうわさ。



野川そばの大寒桜、虎狛神社：

(株)ハリウッド化粧品が工場設立の時に植えたもの。「白子さん黒子さん」で名を馳せた口ゼット洗顔パスタを話題にできる世代でした。



野川を渡る。



虎狛神社は、崇峻天皇2年(589)の神事の記録がある。地方の農業豊作を願ったようだ。



深大寺水車館、深沙大山堂と水源湧水池：

暑い日の中をしばらく歩いていく。深大寺周辺は木々の日影がありうれしい。まず、深大寺水車館を見学。水車がこのような少量の水で動くのはおかしい。原子力からの電気で動いているのではないかと疑問を投げる人。



深沙大山堂は木陰にあって涼しく見学。



裏手に行く。水源は逆川(さかさがわ)と呼ばれる小川で深沙大王堂の裏手からわき出していると書かれていたが、残念ながら水源は干らびていた。



深大寺一帯の湧水を集めて流れ、野川に注ぐ約1.5 kmの逆川。水源から流れ出た逆川は、門前の道路に沿って深大寺方向、水生植物園へ向かう。

茶店には、藁人形が飾って（売って？）あった。



3時を過ぎそろそろ歩くのに飽きてきてどこかでビールを飲もうという人が出てきた。ゆっくりと休む人たちと継続して水生植物園に行く人たちに分かれる。集合は深大寺前。

（都立神代植物公園）水生植物園・深大寺城跡：

深大寺前を過ぎて、水生植物園に向かって歩いていく。低地に湧き水が流れ込み、小川や池が出来て湿地帯になっている水生植物園は、夏のため見るものが少なかった。蓮の花は早朝に咲くので、つぼんだ形で数個見つけることができた。蓮の大きな葉の影にもいくつか見つけることができた。



深大寺城跡に向かって坂道を登って進む。途中そば畑（花と実が混在）の少し白い花が残っている。



深大寺城跡もしばし見学。土橋、空堀などを見学。





鬼太郎茶屋：

深大寺の参道入り口に戻る。1階は鬼太郎グッズや書籍が充実したショップ、目玉おやじの栗ぜんざいやぬり壁のみそおでんなどの妖怪メニューを味わえる喫茶コーナー。2階には鬼太郎の生みの親である水木しげる氏の紹介やその作品、リアルな妖怪フィギアを展示する妖怪ギャラリーがある。あまり関心がないようで通り過ぎた。

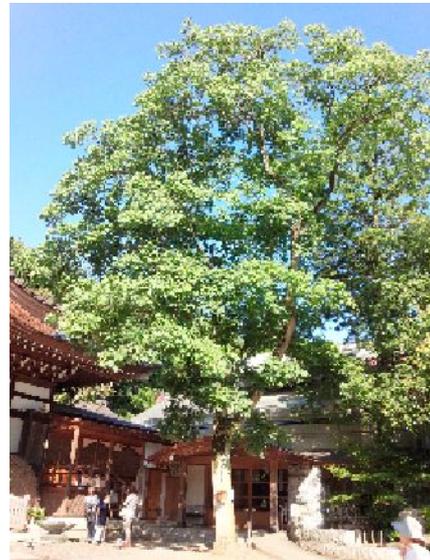


深大寺：

集合時間を決めて各自自由に見学を始める。境内最古の建造物である山門を歩いていく。



立派な無患子の木が青々とそびえていた。



鉢植えの蓮の花があった。

深大寺は、奈良時代の天平5年（733）に満功上人が法相宗の寺院として開かれ、その後天台宗に改宗したという関東でも有数の古刹のひとつ。天台宗中興の祖である正月3日に亡くなられた元三（がんざん）大師像がある。元三大を逆さに読むと麻雀好きならすぐわかる大三元です。



集合写真を撮る。



少し早いけど、温泉に向かう。



解散

適宜、懇親会場からバスやタクシーで自宅近くの駅に向かう。

本当に暑い中、お疲れさんでした。

深大寺天然温泉 湯守の里：

16:00 ちょっと過ぎに入場する。非常に混んでいて、ロッカーを割り当てられなかった人やもともと飲むこと優先の人たちは、2階の食事処で懇親をさっそく始める。

黒湯を楽しむ。一日利用1200円(タオルセット、館内着付込)。10cmほどの深さでもう手が見えなくなる黒茶色のお湯でした。露天温泉を楽しむ。

お食事処で、懇親会を2時間ちょっと楽しんだ。

